

令和5年度1月吉日

一般社団法人 全国介護付きホーム協会  
老松 孝晃代表理事御机下

「第3回新型コロナウイルス感染症による医療・介護施設入所中の認知症者に対する影響調査」  
へのご協力をお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

一昨年度は「第2回新型コロナウイルス感染症による医療・介護施設入所中の認知症者に対する影響調査」にご協力頂き誠にありがとうございました。おかげ様で、コロナ禍が長期化する中において医療・介護施設入所中の認知症の人に生じた影響を皆様方のご協力により明らかにすることができました。

さて、新型コロナウイルス感染症流行によって亡くなられる方がさらに増加する中、これまでの2回の調査と比較して認知症の人や家族の状況がどのように変わってきたのか、また今後感染症に強い医療・介護システムの構築を目指すためにはどのような取組が必要なのかを検討することを目的として、当教室では一般社団法人日本老年医学会と共同で高齢者医療・介護施設を対象としたオンライン調査第3回目を企画しております。

前回調査から変更した点として、他施設との連携や施設における医療の提供状況に関する質問項目を追加しておりますが、前回から削除した設問もあり、回答に必要な時間は前回同様10～15分程度と想定しております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための日常生活制限を少しずつ撤廃しようという動きがある一方、この年末年始には新型コロナウイルスによる死亡者の数が過去最多となる日がみられ、今後の先行きが見えにくい状況になりつつあります。そうした中、これまでの対応状況について整理することは大変重要な事であると考えております。

つきましては、ご多忙中、大変恐縮ではございますが、本調査へのご協力をお願い申し上げる次第です。別途御連絡させていただきますオンライン調査へのリンクを会員施設にご周知して頂ければ幸いです。ご協力頂ける場合は、協力団体として貴協会をオンライン調査の依頼文に記載させて頂きたく存じます。

調査期間はご周知頂いた日から4週間程度とさせて頂きたく存じます。

結果につきましては、感染症流行下において認知症高齢者に対してどのような支援が適切か検討する基礎資料として活用させていただくとともに、広島大学ホームページや医学雑誌等を通じて情報提供させて頂く予定です。調査は無記名式であり個別の施設名や情報は一切公表されません。

大変忙しい折、誠に恐縮ですがご協力のほどよろしくお願いいたします。

敬具

広島大学大学院医系科学研究科  
共生社会医学講座  
特任教授 石井伸弥  
〒734-8553 広島県広島市南区霞 1-2-3  
TEL・FAX：082-257-2018  
E-mail：sishii76@hiroshima-u.ac.jp